

C-32	発達の段階に応じた情報モラル教育の理解と実践 〔オンライン研修〕						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
情報教育の現状と課題を理解し、生きて働く知恵を磨く情報モラル教育を系統的・継続的に進めることができるよう指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（臨時）、非常勤講師、実習助手、寄宿舍指導員、幼稚園教諭、保育士、保育教諭 30名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
9 / 4 (木) 11:00～16:15 [オンライン実施]	○情報モラル教育の現状と情報活用能力の育成について (講義・協議) ○公開講演「1人1台端末環境に求められる情報活用能力としての情報モラル教育」(C-33と合同) 静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾				教育課題への対応⑤ 教育課題への対応⑤		
備 考	センターに集合せず、オンラインにより実施する。						
担当者からの メッセージ	教科等横断的な視点をもちながら、学校全体で情報モラル教育を系統的に進めていくことが求められています。情報教育の現状と課題を理解し、授業や学級活動等を活用しながら、適切な判断ができる児童生徒の育成を図ることができるよう、情報モラル教育について考えます。公開講演では、一般財団法人LINEみらい財団と塩田准教授が共同開発した、小・中・高校生向け活用型情報モラル教材「GIGAワークブック」の内容を基に、児童生徒が様々な課題を自分事として考えることができるよう、演習を交えながら具体的な手立てについて知ることができます。						

連絡先：研修チーム 情報教育担当 TEL (018)873-7204